

清央小だより



令和7年度 第16号

2025. 8. 28

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教
育
目
標

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

・自ら学び工夫する子ども (考 える)

・元気でがんばる子ども (鍛 える)

・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ ホームページに掲載する際は、画像を一部加工することがあります。

夏休み特別号③

夏休みが終わります

過ぎてしまえばあっという間で、夏休みが間もなく終わり、来週から学校がスタートします。お子様たちは、充実した夏休みを過ごせたでしょうか。

Y o u T u b eで、昭和と令和の夏休みの過ごし方の違い、という動画がありました。

遊び方一つにしても、昭和の頃は、毎日のように友達と近くのプールに行き、帰りに駄菓子屋に寄ったり、明け方に近所の林にカブトムシやクワガタを捕りに出かけたりするなど、今はあまりしないよなあ、などと思いながら見させていただきました。そもそもあの頃は、まだクーラーが各家庭に普及していませんでしたから、家にいるよりプールが涼しかったというような事情もあります。



宇都宮に関していえば、夕方は、ほぼ毎日夕立がありました。雷は怖かったけれど、夕立の後は気温も下がり、夜まで暑すぎて眠れないことは少なかったように記憶しています。

時代が変われば、とはよく言いますが改めて違いを示されると、なるほど確かにそうだな、と感じます。

保護者の皆様は、毎日のようにお子様を見ていますので、変化に気付きにくいこともありますが、この夏休みの間に、思った以上に子供たちは成長しています。1か月半は案外長い期間です。高学年ですと急に背が伸びていたり、低学年、中学年の子供たちも顔つきが良い意味で変わっていたりしているものです。こうした見た目の物理的な変化だけでなく、話すことや態度などからも成長している様子が伺えます。

9月1日は私たちにとって、そんないろいろな成長をしている子供たちに会える大切な日です。元気に登校することを心から楽しみにしています。

残暑というには暑すぎる日が続きます。健康状態の確認を十分行うことや、水筒の持参、帽子の着用や、必要に応じてクールタオルなどの冷却用品の携行をお願いします。



宇都宮美術館の企画展が想像以上に楽しかった件

new born 荒井良二

いつも しらないところへ たびするきぶんだった

予想以上に楽しい展覧会でした。展示室1では彼が手掛けた絵本を中心に展示していますが、展示室2では、それ以外の作品が展示されています。秀逸なのは、その展示方法。うまく言えませんが、会場全体が一つの空間作品となるようなもので、訪れた人を新井良二ワールドに引き込みます。

全作品写真撮影可能ですので、お子様と一緒に写真撮影しても面白いと思います。

夏休み後の9月23日(火・祝)まで開催していますので、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

余談ですが、県立美術館のゴッホ展は連日凄い人出でした。4万人を超え、過去一番の入場者数になるのでは？と美術館関係者は言っていました。

